

(公財)京都市国際交流協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

**基本事項**

所管局課	総合企画局国際化推進室	本市出えん金	100,000 千円
基本財産/資本金	100,000 千円	本市出えん率	100.0 %

**「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」**

方向性	存続	目標年度	—
-----	----	------	---

**「今後の方向性」に向けた基本的方針**

業務面	京都市国際化推進プランに即した事業促進を進める事を基本とし、協会の20周年時に策定した「20歳の誓い・10年プラン」に明記されている「誰もが社会の一員として、自分の意見や想いを自由に伝えあう事ができる社会」「誰もが世界の人とのつながりを実感できる社会」を理想の社会として、その社会の構築のための事業を実施する。
財務面	協会の財務基盤の強化のため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、補助金や助成金・寄付金など他の収入増加のための努力を続ける。
組織面	協会運営を担える人材の育成に力点を置く。
その他	特になし

**当年度の取組目標に対する意見**

所管局	業務に関する取組については、新規事業の展開や既存事業の充実とともに、前庭や応接室、姉妹都市展示コーナーの積極的な活用方法を検討するなど、利用者の増加に取り組もうとしている点は評価できる。新規事業の内容については、指定管理業務以外の自主事業を増やすことを検討して欲しい。財務に関する取組では、効率的な会館運営を進めるとともに、他団体等からの収入確保を積極的に行い、自主事業の充実に努めていただきたい。組織に関する取組では、職員交流や研修派遣を積極的に実施しつつ、職員一人ひとりが外郭団体の職員であるということを強く意識し業務に従事していただきたい。
-----	---

**当年度の取組に対する総括**

団体(※)	利用料金収入や企業等コラボ事業等をはじめ自主事業収益の増収を図ることができた。展示室改修のクラウドファンディングに支援してくださった方々の合同展示会や、東アジア文化都市事業との共催による日中韓合同茶会の開催を通して、当協会のネットワークをより広げることができた。
所管局(※)	企業コラボを積極的に増やし、イベント参加者数の大幅な増加につなげたことは大いに評価できる。一方、登録ボランティア主催のイベント開催回数大幅に下がっており、次年度は活動の場を目標値に近づけるよう努力していただきたい。財務面については、引き続き黒字計上できるよう、事業の収益性等を検討しながら進めていただきたい。
外郭団体総合調整会議(※)	京都市国際交流会館の貸出による利用料金収入確保や企業等との連携事業実施等により、自主事業収益が伸びたこともあり、当期一般正味財産増減額が黒字となった。今後も魅力ある事業を展開し、施設の利用者を増やすとともに、自主事業の拡大や経費節減により収益基盤を改善していく必要がある。

(公財)京都市国際交流協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(1)業務に関する取組

目標1「施設利用者の拡大」	
中期経営計画 における取組	「春!kokokaおもてなし広場」(岡崎地域の活性化のために運営をされている京都岡崎魅力づくり推進協議会との連携事業)をはじめ、協会が従来から実施してきた事業とは別に、前庭や応接室など有料施設以外の施設の有効利用等により来館者の増加を図る。また、従来から実施している事業をより充実させ、利用者の年齢層拡大を目指し在住外国人をはじめ留学生、市民に利用しやすい施設運営を行う。
当年度目標	京都岡崎魅力づくり推進協議会との連携事業である「春!kokokaおもてなし広場」など、協会が従来から実施している事業に加え、前庭や応接室などを活用し、来館者の増加を図る。また、平成27年度に実施した姉妹都市コーナー展示室の改装を目的としたクラウドファンディングで得た資金を基に展示室の改装を実施することや、従来から実施している事業をより充実させ、利用者の年齢層拡大を目指し、在住外国人をはじめ留学生や市民にとって利用しやすい施設運営をおこなう。 従来からも受け入れているが、京都市の観光MICE推進室とも連携し、小規模国際会議の誘致を積極的に行う。
当年度結果 (※)	近隣施設との連携事業である「春!kokokaおもてなし広場」や協会のブランド力を活かした「企業等コラボ事業」等で会館の持っているリソースを積極的に活用しイベント参加者の大幅増につなげることが出来た。

指標①	入館者数の増加 (単位:人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		—		267,000		269,000
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	260,000	254,801	262,000	286,726	289,593	—	285,650

指標②	セミナーイベントへの参加者数 (単位:人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		—		33,630		33,973
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	32,944	32,566	33,287	57,139	33,630	—	87,749

(公財)京都市国際交流協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

<b>目標2 「国際交流や多文化共生に携わる市民や民間団体の育成・支援」</b>	
<b>中期経営計画 における取組</b>	市民がボランティア活動に主体的・自主的に関わることで、京都の国際化や共生社会について考える契機となり、誰もが住みやすい地域社会を作っていくため、担い手の支援を行う。
<b>当年度目標</b>	登録ボランティア数の増加のみを考えるのではなく、登録しておられる一人一人の活動内容が有意義になり、ボランティアの方々がやりがいを感じる活動を構築していく。そのためにもボランティアの方々とのミーティングなどの情報収集を密に行うこととする。
<b>当年度結果 (※)</b>	13種類の各ボランティア活動に延べ673名が登録し、定期的に活動に参加している。 その他、単発イベントの活動として「kokokaオープンデイ」には、当日のみ参加するボランティアを含め327名が参加、さらに「ボランティア人材育成講座」には44名が参加した。講座に参加したボランティアが広く地域住民などが参加できるイベントの自主企画として、写真展と日中韓の合同茶会を企画・開催、地域社会の国際化の担い手育成にもつながった。

<b>指標</b>	登録ボランティア数 (実数) <span style="float: right;">(単位: 人)</span>							
<b>中期経営計画</b>	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		500			500
<b>実績</b>	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	600	473	500	484	500	—	461	

<b>指標</b>	登録ボランティア主催イベント開催回数 <span style="float: right;">(単位: 回)</span>							
<b>中期経営計画</b>	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		4,000			4,000
<b>実績</b>	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	—	4,015	4,000	3,872	4,000	—	3,576	

(公財)京都市国際交流協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	295,529	284,852	282,502	276,221	287,190	284,034	
経常費用	308,226	279,495	303,742	293,072	306,354	280,244	
当期経常増減額	△ 12,697	5,357	△ 21,240	△16,851	△ 19,164	3,790	
当期正味財産増減額	△ 12,697	5,269	△ 21,240	△16,851	△ 19,164	3,790	
資産合計	—	374,932	—	376,097	—	365,823	
負債合計	—	99,431	—	117,448	—	103,384	
正味財産	—	275,501	—	258,649	—	262,440	
うち累積損益額	—	175,501	—	158,649	—	162,440	

目標「補助金・助成金の増収」	
中期経営計画における取組	協会の基盤整備のため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、補助金や助成金など他の収入増加のための努力を続ける。
当年度目標	協会の基盤整備のため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、助成金や事業委託料（指定管理料を除く）など他の収入増加のための努力を続ける。平成28年度に向けて日本財団へ助成金を申請中。
当年度結果(※)	日本財団の助成金は選外となったが、引き続き、事業予算確保のため自治体国際化協会等の助成金を申請している。婚活事業、リユース食器利用促進助成、東アジア文化都市事業等の補助金を得て経費の一部に充当することができた。

指標	補助金							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
中期経営計画	—		—		21,000		21,000	
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	
	26,340	18,172	20,687	15,945	21,000	—	16,164	

(公財)京都市国際交流協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標「寄付金・協賛金の増収」	
中期経営計画 における取組	<p>企業とのコラボレーション事業を積極的に促進させ協賛金の増収を図る。 従来から協会への寄付は募っていたが、寄付者が寄付をしやすいシステムを再検討し、各事業及び協会への寄付の受け入れ範囲を拡大させ増収を図る。 例えば、企業のCSR活動に働きかける、遺贈など寄付対象者を広げるための周知等が想定される。</p>
当年度目標	<p>企業とのコラボレーション事業を積極的に促進させ協賛金の増収を図る。 平成27年度中に特定公益増進法人として税額控除対象団体になる要件を備えたので、新年度に向けて京都府に対し申請をし、広く寄付の獲得に努める。</p>
当年度結果 (※)	<p>寄付収入はクラウドファンディングを実施した平成27年度と比較すると大幅に減少したが、例年と同水準の金額を維持することができた。 一方で企業コラボの積極的な誘致の結果、協会事業への協賛金を大きく増加（平成27年度655千円→平成28年度1,656千円）させることができた。</p>

指標	寄付金の増収 (単位：千円)							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		2,500			2,700
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	1,866	1,437	2,300	3,334	2,500	—	1,118	—

(公財)京都市国際交流協会	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(3)組織に関する取組

目標「職員の能力向上」	
中期経営計画 における取組	限られた人数による効率的な運営を目指す。そのために有料無料を問わず職員の研修参加回数を維持し、職員の能力向上を図る。 また、職員の退職に伴う補充の際に十二分に将来戦力となるべき人材を確保する事に努める。
当年度目標	新たに採用する職員の能力向上のために、京都市が開催する職員研修にも積極的に参加する。 限られた人数による効率的な運営を目指す。そのために有料無料を問わず職員の研修派遣回数を維持し、職員の能力向上を図る。
当年度結果 (※)	目標値には達することは出来なかったが、京都市・京都商工会議所・CLAIR（自治体国際化協会）・JIAM（全国市町村国際文化研修所）などの研修を積極的に活用し職員の能力向上を図った。新規採用職員があったため、ホームページ作成や経理についても全体研修を実施した。

指標	職員研修派遣回数 (単位：回)							
	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
中期経営計画	—		—		30			30
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	30	24	30	27	30	—	28	

目標「他団体への派遣職員」	
中期経営計画 における取組	平成26年度までに4名を他団体に派遣しているが、今後も継続して派遣を検討し、職員の能力向上を図る。
当年度目標	平成27年度にも1名を他団体に派遣しているが、平成28年度も派遣を検討し、職員の能力向上を図る。
当年度結果 (※)	公益財団法人京都市ユースサービス協会など交流可能団体との人事交流を継続して検討している。

指標	派遣人員 (単位：人)							
	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
中期経営計画	—		—		1			1
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	1	0	1	1	1	—	0	